

ジオン注射療法

Q & A

ジオン注射療法 (ALTA療法) のさまざまな疑問にお答えします。これ以外にもご不明な点がありましたら、当院までお気軽にお問い合わせください。

Q. どのような「痔」に有効ですか？

A. 脱出を伴う内痔核です。「痔核」とは、一般的に「いぼ痔」と呼ばれているもので、できる場所により「内痔核」と「外痔核」とに分けられます。

Q. ジオン注とはどんな薬ですか？

A. ジオン注の有効成分は「硫酸アルミニウムカリウム」と「タンニン酸」です。「硫酸アルミニウムカリウム」は出血症状や脱出症状を改善します。また、「タンニン酸」は硫酸アルミニウムカリウムの働きを調節する成分です。

Q. 排便はいつから可能ですか？

A. 翌日から可能です。切除手術後のような排便時の激しい痛みもほとんどなく、排便に伴う苦痛に悩まされることがありません。

Q. 効果の程度はどうでしょうか？

A. 従来の手術と同等以上の効果があり、ほとんどの方が翌日から脱出しなくなります。治療後も肛門に負担がかかるような生活を続けていると再発することがありますが、多くの方がこの治療で完治しています。

Q. どのくらいの入院が必要ですか？

A. 従来の手術では1週間から10日程度の入院が必要でしたが、ジオン注射療法では2~3日の入院で済むことがほとんどです。その分、入院にかかる費用も少なくて済みます。

Q. 治療費はどのくらいかかりますか？

A. 費用は健康保険適用となり、目安として3割負担の方で初診時3~4千円、施術日2万5千円程度です。そのほかに入院諸費用がかかります。

痔かな?と思ったら まずは大腸がん検査を

「お尻から出血した」「便に血が混じっている」…。そんな症状が現れたとき、痔を疑う方も多いと思いますが、もっと重い病気、特に大腸がんのサインが隠されていることがあります。安易に自己判断をせず、専門医に相談して、きちんとした検査を受けましょう。

当院の消化器科(内科・外科)は、複数の学会認定専門医とともに、学会認定消化器内視鏡技師の資格を取得している多くのスタッフを擁し、ビデオ電子内視鏡を用いた早期がん治療やポリープ切除術には定評があります。検査・治療機器も最新の機器を備えており、特に細径タイプ大腸内視鏡は「従来よりも苦痛が少ない」と、受診者から多くの好評価をいただいています。

大腸がんで大切なのは早期発見・早期治療です。
出血や血便などの症状があるときは、早めの受診、検査をおすすめします。



当院の内視鏡室

検査のお問い合わせ・お申し込みは

札幌緑愛病院

TEL 011-883-0121

FAX 011-883-7261